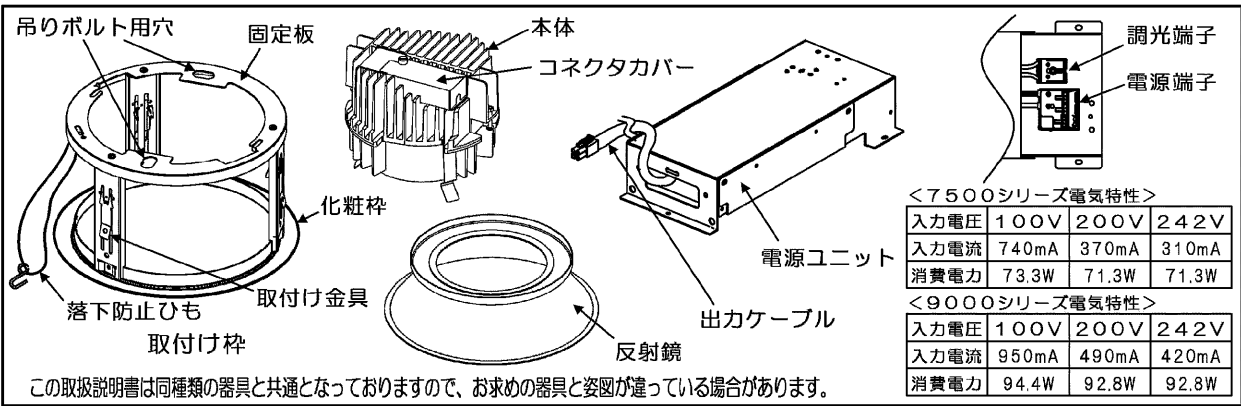


■各部のなまえ



■器具の取付け方

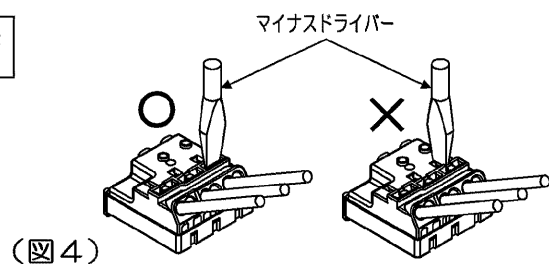
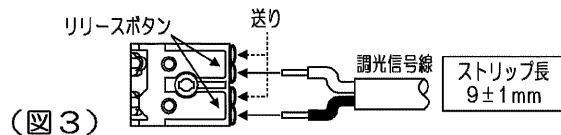
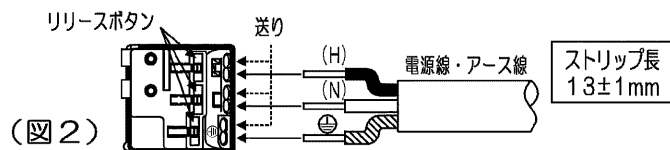
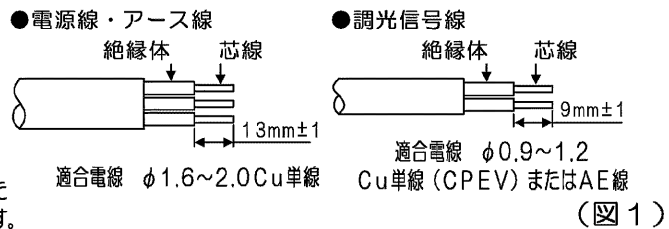
1 器具の埋込穴

- 1.天井に指定の埋込穴をあけてください。
LEDD-75021N-LD9、LEDD-75023N-LD9、LEDD-95021N-LD9、LEDD-95023N-LD9・・・φ200±2mm
LEDD-75031N-LD9、LEDD-75033N-LD9、LEDD-95031N-LD9、LEDD-95033N-LD9・・・φ250±2mm
- 2.取付け前に器具質量や操作に十分耐えられるよう、取付け部の強度を確保してください。
※薄い天井、傾斜天井、ロックウール等の柔らかい天井、壁面に取付けしないでください。
※取付け可能天井厚は、5mm～25mmです。
※埋込穴をあける際は専用工具を用いてあげてください。
注) 取付けに不備があると器具落下の原因となります。指定以外の取付けを行うと、天井材の破損、器具の落下の原因となります。

2 電源線および調光信号線の接続

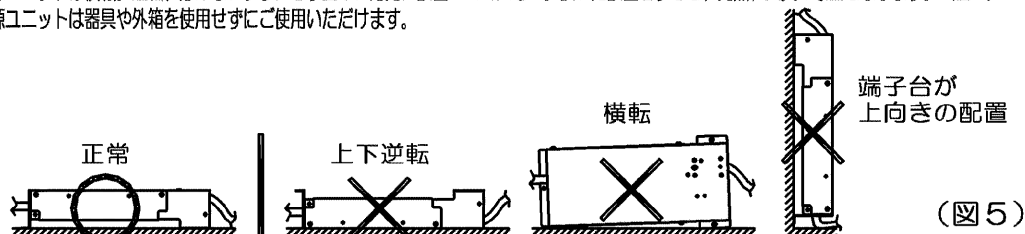
(7頁「調光制御装置の施工上の注意」もあわせてお読みください。)

- 1.電源線・調光信号線の被覆を(図1)のようにストリップしてください。
※棒状端子を使用しないでください。
- 2.電源線を(図2)のように確実に電源ユニットの電源端子台の奥まで差し込んでください。
※電源端子台へ差し込む際、芯線部を曲げたり、ねじったりした状態で差し込まないでください。感電、火災の原因となります。
※送り容量は本体表示に従い1.5A以下で使用してください。
※端子台に張力がかからないように電源線を施工してください。
- 3.調光制御装置からの調光信号線(DC12V)を調光端子台に接続してください。
※誤結線は器具故障の原因となります。電源線(AC100～242V)を調光端子台に接続しないでください。
- 4.電源線を引き抜く際は、必ず電源を切り、(図4)のようにリリースボタンをマイナスドライバーでまっすぐに押し込んで引き抜いてください。
リリースボタン以外を押すと、感電、故障の原因となります。
※使用工具は、先端が6～7mmの電工マイナスドライバーを使用してください。これ以外の工具を使用した場合、リリースボタンが正常に動かなくなり、電源線の解除ができなくなる恐れがあります。
※絶対に電線を回転させて無理に引き抜かないでください。接触不良の原因となります。
- 5.調光信号線を引き抜く際は、必ず電源を切り、リリースボタンを押しながら引き抜いてください。



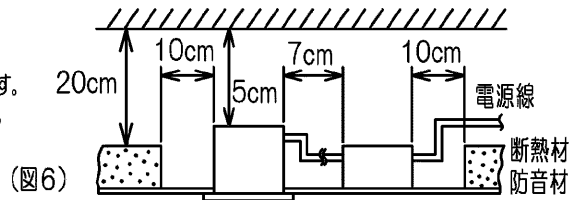
3 電源ユニットの設置方法

電源ユニットは横転、逆転、浮かないように必ず正しい方向に設置してください。誤った設置をすると、発熱、火災の原因となります。(図5)
電源ユニットは器具や外箱を使用せずにご使用いただけます。



4 断熱材・防音材の施工方法

- ・住宅の断熱施工天井ではご使用できません。
- ・住宅以外の断熱施工天井でご使用の場合の施工方法は、(図6)のとおりです。
- ・電源線、調光信号線は断熱材・防音材の上側にくるように配線してください。

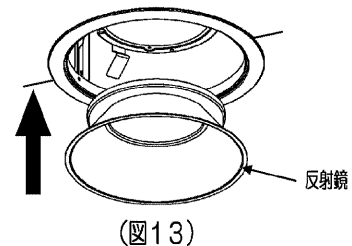
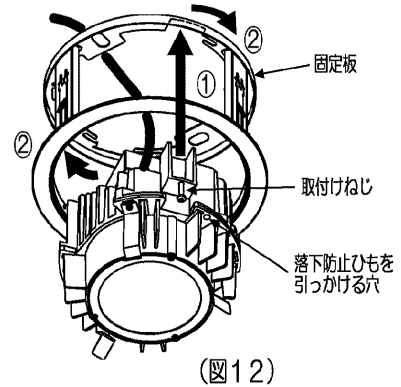
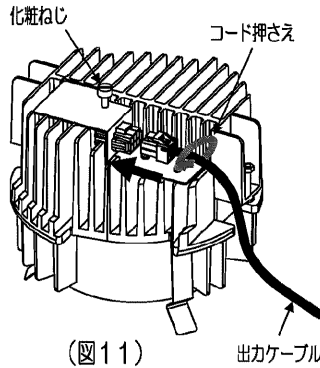
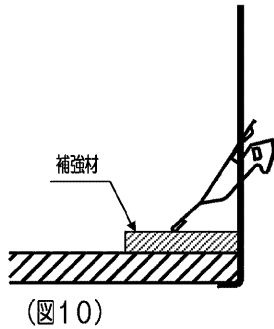
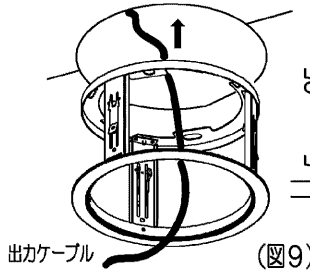
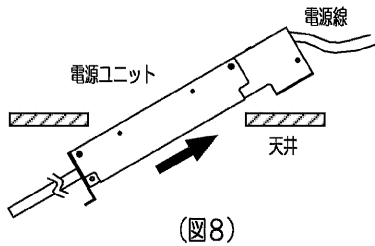
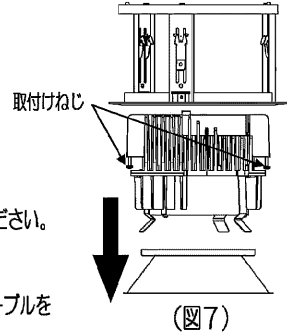


5 器具の天井取付方法

●取付け金具で固定する場合

(注) 取付けに不備があると落下の原因となります。

1. 反射鏡をはずしてから、取付けねじ(2ヶ所)をゆるめて本体を固定板からはずしてください。(図7)
 2. 電源ユニットに電源線および、調光信号線を接続し、埋込穴から斜めに挿入して設置してください。(図8)
 3. 取付け枠を埋込穴に挿入し、取付け金具(3ヶ所)で固定してください。(図9)
- ※珪酸カルシウム板の天井に取付ける場合は取付け金具と天井の間に補強材を入れてください。(図10)
- 天井の厚みが12mm未満の場合は「●吊りボルトで固定する場合」に従って、吊りボルトおよび、取付け金具で固定してください。
4. 落下防止ひもを放熱器の穴に引っかけてください。(図12)
 5. 化粧ねじをゆるめてコネクタカバーを取りはずしてください。
 6. 電源ユニットの出力ケーブルを、コード押さえの中を通して本体のコネクタに確実に接続し、コード押さえを締めて出力ケーブルを固定してください。(図11)
 7. コネクタカバーを化粧ねじで取付けてください。
 8. 本体を固定板に当たるまで押し上げ(図12-①)、時計回りに回転させてはめ込み(図12-②)、取付けねじで確実に固定してください。(図12)
 9. 化粧枠にカチッと当たるまで反射鏡を押し上げ、取付けてください。(図13)



●吊りボルトで固定する場合

(注) 取付けに不備があると落下の原因となります。

1. あらかじめ吊りボルト(2ヶ所)・ナットの用意をしてください。

※吊りボルトのピッチ

LEDD-75021N-LD9, LEDD-75023N-LD9, LEDD-95021N-LD9, LEDD-95023N-LD9... 160mm

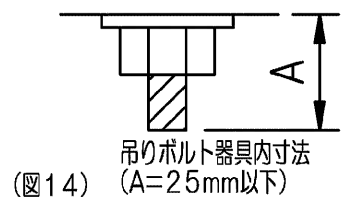
LEDD-75031N-LD9, LEDD-75033N-LD9, LEDD-95031N-LD9, LEDD-95033N-LD9... 200mm

2. 吊りボルトを固定板の吊りボルト用穴に取付けてください。

注) 吊りボルトの器具内寸法(A寸法)は25mmを超えないようにしてください。(図14)

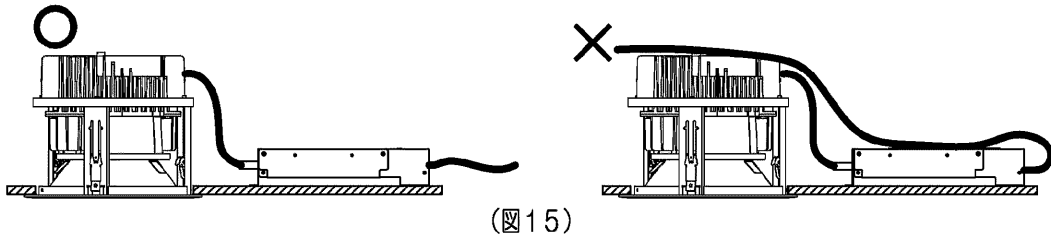
3. 化粧枠、固定板の間を通して器具内に電源線を引き込み、吊りボルトと取付け枠の吊りボルト用穴の位置を合わせ、取付け枠を埋込穴に押し込み、取付け金具で固定してからナットで固定してください。固定に不備があると器具落下の原因となります。

4. 「●取付け金具で固定する場合」の4、5、6、7、8、9に従って器具を取付けてください。



6 配線方法

器具本体に電源線を接触させないでください。感電、火災の原因となります。



(図15)

7 調光制御装置の施工上の注意

下記の調光制御装置を使用して調光（約5%～100%（全光）、0%～100%（全光））を行うことができます。調光制御装置と組み合わせてご使用になる場合は次の点にご注意ください。

1. コントルクス（FLコントルクスPD）をご使用になる場合

(1) FLコントルクスPDは下記に示す製品をご使用ください。

・DF-70170-PD

(2) 上記コントルクスの設定スイッチは以下の仕様を参考に（図16）、（図17）のようにセットしてください。

フェード機能・・・徐々に光が明るく又は、暗く変化する機能です。

①「約5%～100%（全光）」フェード機能なし → ダイヤル設定1（図16）

②「0%～100%（全光）」フェード機能あり → ダイヤル設定0（図17）

※0%～約5%の間は、調光出来ません。

※調光時の消灯・・・フェードしながら消灯します。

※調光時の点灯・・・0%～調光した場合は、フェードします。

途中の調光（例：約5%～、80%～）状態からは、フェードしません。

※スイッチON/OFF時・・・フェード機能は、ありません。

(3) その他のコントルクスと組み合わせてご使用になる場合は別途お問い合わせください。

※白熱電球用コントルクス（2線式）と組み合わせて使用することはできません。
火災の原因となります。

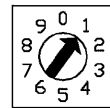
(4) 電源線の他に調光信号線（2線）が必要になります。

(5) コントルクスと照明器具との配線最遠長は200m以下としてください。ただし、コントルクスから照明器具までの距離によっては調光動作にばらつきが生じる場合があります。（図18）

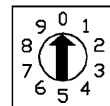
2. その他SESL、MESLと組み合わせてご使用になる場合は別途お問い合わせください。

3. 各制御装置へ接続する場合の最大接続台数は器具商品図面をご確認ください。

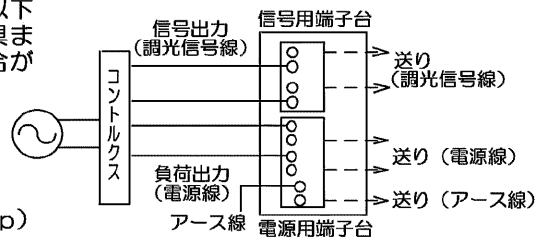
（参照URL <http://saturn.tlt.co.jp/product/search.jsp>）



(図16)



(図17)



(図18) 調光制御装置との結線図

保証について

- 保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。但し、LED器具の点灯装置、蛍光灯器具・HID器具の安定器（インバータバラスト含む）については3年間です。
- セード、グローブ、リモコン送信器は保証対象とし、ランプ、点灯管、電池などの消耗品は対象外とさせていただきます。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合は、無償修理させていただきます。

補修用性能部品の保有期間

弊社は、この照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証の免責事項

- 保証期間内でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
 - 車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
 - 施工上の不備に起因する故障や不具合
 - 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
 - 日本国内以外での使用による故障及び損傷
- 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048（通話料：無料）

受付時間：365日 9:00～20:00

携帯電話・PHSなど 046-862-2772（通話料：有料）

FAX 0570-000-661（通話料：有料）

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

日本国内専用
Use only in Japan

東芝ライテック株式会社 施設・屋外照明部 施設照明担当

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72-34

TEL(044)331-7556
FAX(044)548-9604